



アデニウム

Desert rose



学名：Adenium Roem. et Schult. (アデニウム)
 科目：Apocynaceae (キョウチクトウ科アデニウム属)
 原産地：熱帯アフリカ～南アフリカ

花



淡紅色の花をいっせいに咲かせたアデニウム・オベスム

アデニウム属は、茎の基部が徳利形に膨らむ低木状の多肉植物で、熱帯アフリカから南アフリカにかけて、約15種が自生しています。

主に栽培されているのはアデニウム・オベスムで、英名でデザートローズ(砂漠のバラ)と呼ばれるほど、乾燥に強いのが特徴です。光沢のある濃緑色の葉は茎の上部につき、長さ7～8cmのへら形。直径5cmほどの淡紅色の花は、花冠の先が5片に分かれて開く漏斗状で、春から初夏にかけて、茎の先端に2～10輪が集まって咲きます。日本で鉢植えにされて出まわるものは、樹高50～60cm程度にしかありませんが、原産地では3mにも達し、1年中開花するので垣根や庭木によく利用されています。

このほかには、縁が鮮紅色の白花を多数つけるアデニウム・オベスム・マルチフロラム、白またはピンクの小花を咲かせるアデニウム・ソマレンセなどがあり、どちらも鉢植え用に栽培されています。いずれも花や葉のかわいらしさに加えて、茎の基部が肥大したユニークな樹姿の植物です。

アデニウム

MEMO	栽培：難易度 ★★★☆☆	開花時期：5～6月
	生育温度：20～25℃	収穫時期：—
	手入れ：剪定	高さ：50～300cm
	土：1：1：1 (赤玉土：腐葉土：鹿沼土)	病気・害虫：カイガラムシ

栽培ポイント

👤 栽培

暑さや乾燥には強い植物ですが、耐寒性がないので、冬期は室内で保温することが肝心です。また、春から秋は雨を避けて管理する必要があることなどから、地植えにするよりも、鉢植えで育てましょう。

成株の鉢植えを購入するのが一般的ですが、挿し木によって得られた苗から育てる場合は、元肥を施した用土で、小鉢に1株ずつ植えつけましょう。適期は5~7月です。

🌡️ 生育温度

適温は20~25℃。冬期は、水を断って5℃以上で管理すれば、冬越しは可能です。また、15℃以上を保てば、1年中開花します。

👉 手入れ

花後に伸びすぎた枝を剪定し、樹形を整えます。

☀️ 日照

風通しのよい日向を好むので、気温が上がる5~9月は、戸外に出して日光によく当て、10~4月は室内の日当たりのよい場所に置きましょう。

💧 水やり

5~9月は鉢土の表面が乾いたらたっぷりと水を与えます。盛夏の水やりは土が蒸れるのを防ぐため、早朝か夕方に行いましょう。10~12月、3~4月は乾燥ぎみに管理し、1~2月は水を断ちます。

▲ 土

水はけがよく通気性に富んだ土が適しています。赤玉土、腐葉土、鹿沼土を、それぞれ同量ずつ混合したものがよいでしょう。

原産地ではアデニウムを垣根や庭木によく利用します。



花の中心部まで赤く染まる濃色品種

🍷 肥料

元肥として、緩効性肥料を用土1ℓにつき3g施し、追肥は6~8月に、薄い液肥を月1回与えます。

🪴 植えかえ

2年に1度は植えかえをし、根づまりを防ぎましょう。適期は4月中旬~8月。植えかえの数日前から水やりを控え、鉢から株を抜いて古い土を落とし、傷んだ根や細かい根を切り取ります。根を切ってすぐに植えつけると切り口が腐りやすいので、2~3日ほど陰干しにして乾かしてから、新しい用土を入れたひとまわり大きな鉢に植えかえます。水やりは数日たってから行いましょう。

殖やし方

挿し木で殖やすのが一般的です。適期は5~7月。2~3節つけて枝を切り、下葉を落として数日間日陰に置き、切り口が乾いたら定植用と同じ用土で浅鉢などに挿します。2~3週間で発根するので、小鉢に植えつけましょう。なお、挿し木から殖やした株の場合、茎の基部は徳利形に膨らみません。

作業	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日照	日向	☀️											
水やり			少なめ				ふつう					少なめ	
肥料													
植えかえ													

購入アドバイス

種子の入手はむずかしいので、春から初夏にかけて出まわる鉢植えを購入して育てます。茎が太くてしっかりとし、葉の色つやのよいものを選びましょう。



自生するアデニウム・オベスム。茎の基部が徳利形になるのが特徴です。

🌿 病気対策と害虫防止 🌿

- カイガラムシは貝のような硬い殻に包まれる害虫で、風通しが悪い場所に鉢を長く置くと発生します。枝や葉について吸汁し株を弱らせるので、見つけ次第綿棒や歯ブラシでこすり落としましょう。幼虫の駆除にはスミチオンなどの薬剤も効果的です。